



# 議会だより

あなたと議会を結ぶ架け橋



認知症地域支援のアクション農園

..... も く じ .....

令和4年度決算..... P 2	開会中の常任委員会 P 8
決算審査..... P 4	一般質問..... P10
決算への審査意見 .. P 5	議員全員協議会 .. P21
一般会計補正予算 .. P 7	閉会中の常任委員会 P22

【令和5年9月定例会の動画視聴】

9月8日から21日までの定例会や一般質問をインターネット通じて視聴ができます。ライブ配信もしていますが、当日の動画を録画し、視聴ができるようになっています。この機会にご覧ください。



令和4年度

# 決算

# 議会がチェック！町の家計簿

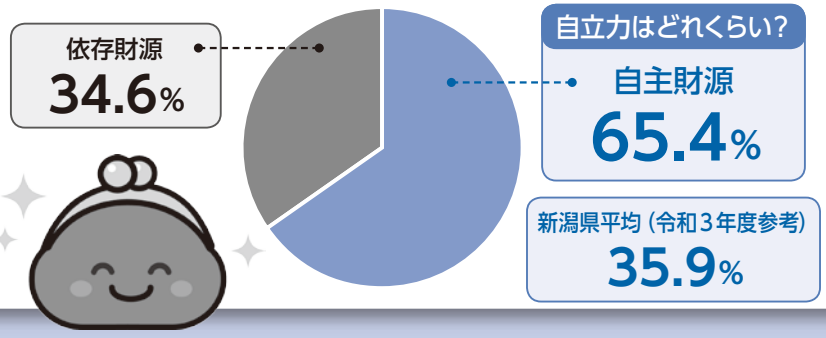
9月定例会は「決算議会」ともいわれています。前年度の決算について審査し、認定しました。一般会計については以下の通りです。

歳入（町に入ったお金）…………… 97億980万円		
自主財源	町 税	町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税 36億8,720万円
	繰越金	前年度決算の剰余金として繰越されたもの 9億 691万円
	寄附金	一般寄付、ふるさと納税 7億3,485万円
	諸収入	貸付金元利収入、雑入など 2億3,987万円
	財産収入	町有地などの貸付収入、基金利子、配当収入など 9,199万円
	その他	分担金・負担金、使用料・手数料、繰入金 6億9,170万円
依存財源	国庫支出金	国からの負担金、補助金、委託金 10億4,539万円
	県支出金	県からの負担金、補助金、委託金 4億5,484万円
	地方交付税	普通交付税、特別交付税 7億1,789万円
	町 債	建設事業等の財源としての借入金 8億 661万円
	地方消費税交付金	地方消費税のうち市町村分 2億2,986万円
	地方譲与税	国税として徴収し一定基準に基づき譲与されるもの 6,066万円
	その他	4,203万円

歳出（町が使ったお金）…………… 89億5,483万円		
総務費	全般的な事務や政策、財産管理、選挙、徴税など	22億 748万円
土木費	道路、河川、公園などの整備と維持管理、除排雪など	19億4,225万円
民生費	障がい者や高齢者の福祉、子育て支援など	16億7,706万円
衛生費	ごみ処理などの環境衛生、疾病予防、健康増進など	9億1,613万円
消防費	消防や救急、災害対策など	5億4,747万円
商工費	商工業、観光振興など	4億4,325万円
教育費	学校教育、生涯学習など	4億2,198万円
公債費	地方債の元利償還金	4億1,333万円
農林水産費	農林水産業の振興、有害鳥獣対策など	1億6,957万円
その他	議会費、労働費、災害復旧費など	2億1,631万円

## 自主財源比率とは

地方税、使用料および手数料など、地方公共団体が自主的に収入とすることができる財源の比率で、行政活動の自主性と安定性の尺度ともいわれます。（町債は除く）



## 令和4年度 特徴的な支出



### 地方税のお支払が 便利・簡単に!!

24時間365日、いつでもどこでもお支払可能!!

共通納税税目拡大等対応事業

1,137万円



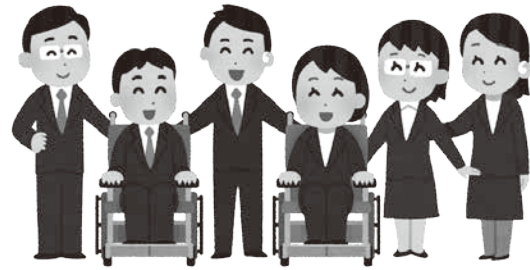
旧布場スキー場雪崩予防柵設置

7,799万円



旧湯沢小学校エントランス棟建築

1億7,383万円



障がい者自立支援事業

1億4,380万円



児童クラブ・子育て支援センター建設

4億3,604万円



学校給食費補助金

726万円



湯沢西地区街なみ環境整備事業(道路美装化)

1,949万円



越後湯沢駅東口エレベーター設置

2億2,576万円

令和4年度

# 決算審査 特別委員会

9月14日・15日・19日



決算審査特別委員長  
高橋 政 喜

特別委員会は町の前年度決算について審査するために設置されます。今回の審査結果や決算報告の主な質疑を報告します。

## 特別委員会 審査結果

### ● 一般会計決算

賛成多数で認定

### ● 国民健康保険特別会計決算

賛成全員で認定

### ● 後期高齢者医療特別会計決算

賛成多数で認定

### ● 介護保険特別会計決算

賛成全員で認定

### ● 下水道特別会計決算

賛成全員で認定

### ● 水道事業会計利益の処分及び決算

賛成全員で認定

### ● 病院事業会計決算

賛成多数で認定

## 総務部

決算書等確認指導や町の支援業務、空き家について審査

### Q 決算書等確認指導とは何か。

A 湯沢高原ロープウェイ決算内容確認を会計事務所に依頼している。

Q ぴったりサービス構築支援業務の業務内容は。

A マイナポータルのぴったりサー

### Q 空き家について、把握している

A 空き家対策として管理している、倒壊等の危険があるものは管理され、危険があれば所有者に通知している。

Q 空き家や危険家屋の件数は。

A 空き家 三国22件、三俣18件、

### Q 道路使用料の未済額は徴収でき

A 実態不明法人のため、徴収が困難。

Q 三俣地域対策として観光エリアの一つとして明確に位置づけ事業を

難。

## 健康福祉部

人材確保支援事業や介護保険、病院事業会計について審査

神立24件、土樽44件、湯沢45件。危険建物 三国11件、三俣4件、神立8件、土樽14件、湯沢12件。

### 〔介護保険特別会計〕

Q 滞納者は、介護保険サービスが受けられなくなるのか。

A 2年で時効となる。滞納期間に応じ、費用の一時全額負担や高額介護サービス費等が受けられなくなる。

### 〔病院事業会計〕

Q 一般会計からの繰入があるが、今後の見込みは。

A 20年以上経過しており、施設修繕・各種更新があり、病院側と調整し優先順位を決定している。

## 地域整備部

町営住宅や道路、地域対策について審査

### Q 移住者支援の移住期間の条件は。

A 3年未満の転出は全額返金、3年以上5年以内の転出は半額返金。

Q まちづくり機構事務局運営事業の人員費は。

A 3,640万円の内、職員給与2,145万円、役員報酬300万円、福利厚生費470万円、他経費。

## 税務町民部

町税や後期高齢者医療特別会計について審査

### 進めはどうか。

A 整合性が取れる中で住民意見を取り入れ考えていく。

### Q 高額滞納者の対応は。

A 法人が多く、中には実態不明もある。徴収技術向上の為、地方税徴収機構へ職員派遣対策を行う。

### 〔後期高齢者医療特別会計〕

Q 不能欠損4名は。

A 死亡・存命もいる。時効が2年となっている。徴収は、現在町民課で対応、今後税務課と協力し不能欠損や滞納が発生しないよう対応する。

## 企画産業観光部

地方創生や移住支援、観光関連について審査

子育て教育部  
教育や子育て、地域外教育について  
審査

Q 未満児保育の拡張を行ったが、待機児童は。

A 0歳児と1歳児を合わせ15増となり、待機児童はいない。面積的定員数を増やすのは可能だが、保育士不足で定員増は望めない。



湯沢認定こども園

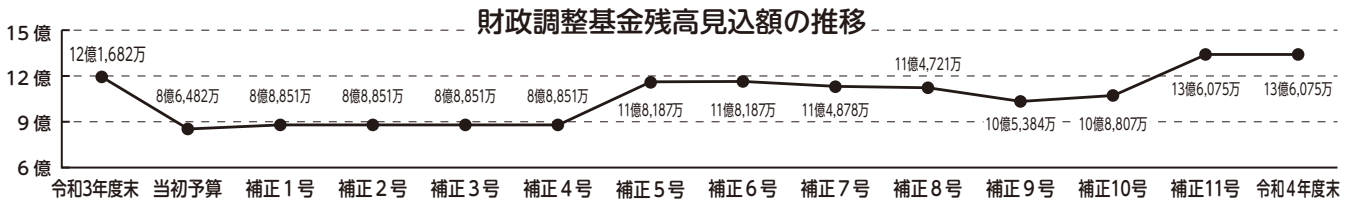
町長への  
総括質疑

Q 町内の大口滞納者の対策はどのようなを行うのか。

A 役場内での体制強化や新潟県地方税徴収機構とも連携し、滞納解消の実績上げている。今後についても滞納を減らし増やさない取り組みをしっかりと続けていく。

財政調整基金  
残高見込額の推移

財政調整基金とは、年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金です。支出に対して収入が不足する場合は基金から繰入れ、決算による剰余金など財源に余裕がある場合は基金に積み立てます。



令和4年度各会計決算への審査意見  
(要約・抜粋)

一般会計



議員選出監査委員  
岸野 雅人



監査委員  
野上新 平

《審査：7月28日、31日、8月2日》

「**事務事業の執行への意見**  
税や料金など債権の確実な収入は、一般会計だけでなく他会計にも共通する重要課題と言える。

健全な財政状況の維持は、安心して暮らせるまちづくりにつながる。引き続き、適正な課税と徴収により財源を確保し福祉の増進に努め、滞納の解消に努めてください。

事務事業の見直し及び適正な事務処理

財政調整基金の残高は増加したが、経常収支比率は4.0ポイント増加し90.9%。依然として高い水準であり財政の硬直化傾向は続いている。緊急的な事業等にも対応できるように財源の安定的な確保を図るとともに、既存事業の統廃合など行財政をスリム化する見直しが必要と思われる。また、効率的な予算の執行と法令を遵守した適正な事務処理を職員全員に周知徹底してください。

町有施設の管理運営及び維持管理

財政の硬直化が進んでいる。温泉施設をはじめ多数ある公共施設の運営費等の経費が増大している。

大型施設の老朽化に伴う更新など、全施設の維持存続には困難が予想される。特に湯沢高原ロープウェイの更新や町役場庁舎の建て替え等、多額の経費がかかる。早急に調査検討に着手し、基金の準備も含め対応の必要がある。

新たな住民ニーズへの対応や様々な

な住民サービスを継続するため、既存施設の収支状況と今後の必要経費の将来展望を策定し、施設の統廃合も含め、管理運営手法の見直しに取り組み、健全経営を維持できる運営を目指してください。

### 特別会計

《審査：7月18日、19日》

#### 国民健康保険特別会計

特定検診は、期間の延長や土曜日の日程を追加するなどの取組みが行われたが、新型コロナウイルス感染症禍前の受診者数までには至っていないようだ。疾病の早期発見により重症化を予防し医療費の抑制にもつながるよう、今後も事業の周知と受診率の向上に努めてください。

#### 後期高齢者医療特別会計

被保険者の比率は年々増加傾向にある。国民健康保険税の滞納が解消されないまま後期高齢者となる事例があるようだが、保険証更新時等に聞き取りを行うなど滞納の解消に繋がってください。

#### 介護保険特別会計

介護サービス利用希望者は増加していくものと思われるので、必要と

する人が適切なサービスを受けることができる体制が整備されるよう、施設の充実や人材の確保にも努めてください。

#### 下水道特別会計

平成29年から供用の三俣浄化センターの接続率が34.8%と他地区に比べ低い状況だ。接続を推進し水洗化率の向上に努めてください。

また土樽松川浄化センターの湯沢浄化センターへの統合や公営企業法適用など、今後複数年度に渡る事業に計画的に取組んでください。

#### 公営企業会計

《審査：7月11日》

#### 水道事業会計

給水人口は微減ながら純利益は増となったが、依然として新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には達していない。

今後も施設の老朽化に伴う更新や修繕が多く出て来る。優先順位等を検討し計画的な修繕で、年度ごとの費用の平準化を図ってください。

#### 病院事業会計

令和2年から一般病棟の地域包括ケア病床転換により、新型コロナウイルス感染症禍にあっても、収益の

減少幅は抑制されている。

今後更に、身近な医療を支える「かかりつけ病院」として、地域のニーズに応えると共に、引き続き安定した医療を提供するため、魚沼地域医療圏の各医療機関との連携強化を図り、湯沢病院離れにつながるよう指定管理者と認識を共有し、病院運営の諸課題に取り組んでください。

※本事業会計は、利用料金制の指定管理者制度を導入しており、入院・外来などの収益はすべて指定管理者が直接收受。よって、他の事業費用に充当する資金は一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない。

このほかにも一般会計からは、企業債償還金分の補助金を繰入れている。

9月定例会  
本会議審査  
9月8日

#### 教育委員会委員の任命

高橋延次氏(湯沢)(再任)  
賛成全員 ↓ 同意

#### 承認第6号

令和5年度 一般会計補正予算(第4号)の専決処分

308万円を追加し、総額を86億2,445万6千円とする。

・条例貸付地返還補償料

9万7千円

・旧土樽小の消防設備修繕

130万円

・敬老会開催(老人福祉総務費)

168万3千円

賛成全員 ↓ 可決

#### 承認第7号

令和5年度 下水道特別会計 計補正予算(第1号)の専決処分

350万円を追加し、総額を9億1,509万3千円とする。

#### 三俣地内支障木伐採

汚水管理設のため 350万円

賛成全員 ↓ 可決



湯沢保健医療センター

# 審査特別委員会 一般会計補正予算(第5号)



委員長  
岸野 雅人



副委員長  
水谷 幸乃

## 歳入歳出に87,762,000円を追加 総額を8,712,218,000円に

主な歳入	
ふるさと納税(クラウドファンディング)	300万円増
介護保険特別会計繰入金	419万5千円増
財政調整基金繰入金	2億1,089万9千円減
湯沢こころのふるさと基金繰入金	180万円
繰越金	2億8,943万2千円増
高齢者の保健・介護一帯実施推進受託事業	115万5千円減
主な歳出	
公共施設見直し方針策定支援	670万円
事業者等支援補助金	90万円
国際交流事業(セルデン)	146万円
湯沢こころのふるさと基金積立金	300万円増
国・県支出金精算返還金	1,065万9千円増
総合福祉センター1階増設設計・工事及び北側単管車庫建替設計	572万円
健康増進施設修繕料	432万5千円増
後期高齢者医療広域連合負担金	426万8千円増
带状疱疹ワクチン予防接種費用助成	20万円
新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫支出金精算返還金	489万8千円増
駒子の湯消雪井戸洗浄ポンプ据付	550万円
可燃ごみ処理施設運営業務	1,558万3千円増
不燃ごみ処理施設運営業務	119万8千円減
消防業務委託	295万3千円増
消防施設等整備費負担金	389万7千円減
樹木剪定委託	181万5千円増
排煙窓改修工事	100万円増

- ・人事異動に伴い職員手当を補正。
- ・南魚沼市への事務委託(昨年度分)精算。
- ・債務負担行為：指定管理3件を追加。

### 主な質疑

(要約・抜粋)

**Q** 公共施設見直し方針策定、公共施設の在り方の内部検討はどのようなか。計画の公表は。

**A** 平成29年に湯沢町公共施設等総合管理計画を策定。維持管理コスト等を見据え再編等を検討する計画。ホームページに掲載。個々の施設等について住民アンケート等を行い今後の方針を検討。

**Q** セルデンとの交流の経緯は。

**A** 旧塩沢町と姉妹都市交流から40周年とのこと。15年前、新潟県日壇協会訪問団に雪国観光圏メンバーが参加。今回、新潟県日壇協会から南魚沼市と湯沢町の広域交流の提案があった。

**Q** 带状疱疹のワクチン、1人への補助が1回分への補助か。2種のワクチンどちらも対象か。助成対象者は遡るのか。

**A** 1回分への補助で5千円を2回、計1万円補助。今回は不活性化ワクチンが対象。生ワクチンは今後に予定。対象は新たな接種から。

**Q** 三国地区訪問介護の赤字補填、訪問体制の詳細は。

**A** 土曜日は1日、木曜日は隔週半日訪問。

**Q** 公共施設見直し方針策定、状況を説明してのアンケートではなく、状況を考え方を示してからアンケートを行なうべき。

**A** アンケートの取り方で結果は異なる。委託業者決定後、実施内容を考えたい。

# 開会中の常任委員会審査

9月8日

閉会中常任委員会審査とは、定例議会中に行われる議案審査を本会議の議決に先立って3常任委員会で行う審査です。

## 総務文教常任委員会

委員長 渡辺千恵

付託された条例1案件、陳情1案件を審査

湯沢町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定

新潟県電子申請システムの共同利用の活用によって湯沢町も行政手続きオンライン化を10月から始めるための条例制定。

**Q** この申請をするときマイナンバーカードがないとできないのか。

**A** マイナンバーカードは必要ない。

**賛成全員** ↓ 可決すべき

「私立高校生の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

私立高校は親の負担が大き。また公立高校に比べ専任教員が少ない。生徒にゆきとどいた教育をおこなうために専任教員を増やしたい。私立

高校生が学費の心配なく学べるよう下記の陳情を。

1・年収590万から910万円未満世帯を授業料無償に。

2・入学金への新たな助成措置を。

3・私立高校において専任教員増が可能となるよう経常費助成を増額。

**賛成全員** ↓ 採択すべき

## 生活福祉常任委員会

委員長 宮田真理子

付託された補正予算4案件、陳情1案件を審査

令和5年度国民健康保険特別会計補正

歳入歳出予算の総額を増減なしとし、繰り越額が確定。

**賛成全員** ↓ 可決すべき

令和5年度後期高齢者医療特別会計補正

賦課額決定に基づいての保険料の補正と、令和4年度繰越額の決定。382万1千円を追加。

**賛成全員** ↓ 可決すべき

令和5年度介護保険特別会計補正

令和4年度実績による精算によるものである。6,403万9千円を追加し、介護給付費準備基金高見込みは1億8,879万3千円となる。

**賛成全員** ↓ 可決すべき

令和4年度病院事業会計補正

施設修繕費300万円、医療機器購入費63万8千円の補正。修繕は汚水管他5か所の修繕である。医療機器は卓上遠心機である

**賛成全員** ↓ 可決すべき

健康保険証の存続を求める陳情

2024年秋健康保険証廃止は、マイナンバーカード取得の強要である。誤登録などにより、医療機関窓口でのトラブルは108万件にも及ぶとのこと。資格確認書の発行は、各自自治体や健康保険組合が行い、煩雑な作業にまた同じような間違いがあると思うと安心して医療機関にかかるともできない。「中止」「延期」を求める声は高齢者の切なる願いでもある「健康保険証の存続」を強く願う。

**賛成全員** ↓ 採択すべき

## 産業建設常任委員会

委員長 並木利彦

付託された補正予算1案件、陳情1案件を審査

令和5年度下水道特別会計補正

令和4年度の決算に伴い、特別会計の繰越金が確定したため、一般会計からの繰入金を調整し精算するもので、歳入歳出それぞれに1万8千円を追加する。

〔歳入〕

令和4年度の繰入金が増えたため。

〔歳出〕

使用料及び賃借料。

**賛成全員** ↓ 可決すべき

〔陳情〕 JR東日本に請願社境内の杉の伐採についての住民説明会の要請をする陳情

湯沢町民にとっての重要な歴史・文化的な遺産であり、住民説明会を開催してもらえよう強く働きかけて頂きたい。

**賛成なし** ↓ 不採択



# 9月議会

9月21日 最終日

## 討X論

### 陳情第3号

#### 健康保険証の存続を求める陳情

##### 反対討論

宮田 眞理子

マイナンバーカードを保険証とすることについて現在問題が多いことは承知している。国は来年、秋まで移行期間をもち、更に一年の猶予をみているという。新たなことへの不安など、気持ちをはわかるが、進んでいかななくてはならない。

##### 賛成討論

南雲 あや子

本来マイナンバーカードの取得は強制ではない。しかし政府は来年の秋に現行の健康保険証廃止を法律で定め、事実上取得を強要しマイナ保険証での受診に一本化する方針のようだ。

多くのトラブルが発生し、国民の7割が不安に思っているのになぜ強行するのか。

マイナ保険証への別人の医療情報の紐づけは保険診療の根幹に係わるミスであり命に係わる問題だ。

現行の健康保険証を残してこそ安心して保険医療を受けられる保障だ。

### 陳情第5号

#### JR東日本に諏訪社境内の杉の伐採についての住民説明会の要請をする陳情

##### 反対討論

岸野 雅人

陳情の審議は、議会として『JR東日本に住民説明会を要請するか否か』だ。

まず、宗教法人諏訪社とJR東日本の約束事に、「説明会を…」との要請は議会議決に適さない。

線路等へ落ちる木々の枝葉の悪影響は現地を見れば想像でき、JRの危惧は理解できる。

また諏訪社役員によれば、鳥居付近の杉は枝が度々落ちて参拝者への被害が心配とのことだ。

歴史・文化・自然はそこに暮らす人々にとり、また観光面からも大切なのは理解する。

しかし、木の伐採につき、議会がJR東日本に対し、住民説明会開催を要請することには賛成できない。

また諏訪社の伝統的な手続きに問題があるとも思わない。

### 令和4年度 一般会計決算

#### 反対討論

南雲 あや子

#### 第1 新型コロナ対策

新型コロナ対策では、政府による経済対策に町独自の対策も講じられ一定の成果があった。ただ、小規模事業者など本場に支援が必要な方々に届いていたのか。そこへの支援策を講じる必要があった。

#### 第2 雪対策

豪雪により困った時、頼るところが社会福祉協議会を通じた「除雪支援事業」しかないというのでは、住みよい湯沢町とは言えない。

だれもが活用できる除排雪制度と態勢を湯沢町で構築するべき。

#### 第3 国や政府の施策に対する態度

マイナ保険証の強制や自衛隊への若者の名簿提供等、国の施策を無批判で実行する態度は問題だ。

長引く経済不況の中、何よりも地方自治体が住民の命と暮らしを守る砦となるよう力を尽くしてほしい。

### 令和4年度後期高齢者医療特別会計決算

#### 反対討論

南雲 あや子

昨年10月から窓口負担が2割となり、負担は倍額になった。

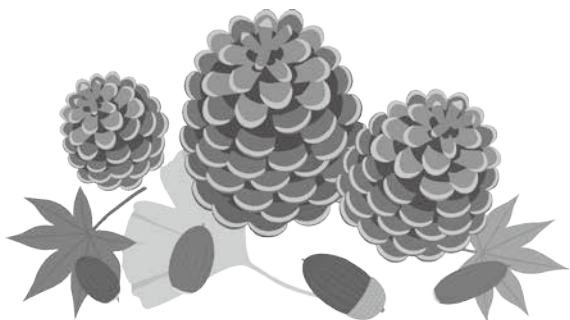
高齢者は病気になるやすく怪我もしがちだ。慢性疾患を複数抱える人

も少なくない。負担は計り知れない。細る年金収入のために暮らしを切り詰めている高齢者が受診を我慢し、早期発見・治療が遅れて症状が悪化すれば、病状回復が困難になり命にも関わる。

政府は、国庫負担を当初の45%に戻し、国としての公的役割を果たすべきだ。

国の制度であり運営は県が行い、町は適正に管理運用しているのだから、住民いじめの悪法に対して異議を唱えるのも地方議会の役割だと考える。

地方自治体の真の役割は、住民いじめの政治から住民の命と暮らしを守ることだ。



# 町政を問う

「町政を問う」は、本会議で行った各議員の一般質問掲載ページです。

一般質問とは、執行部（町長や教育長）に対し、町政全般について事務の執行状況や方針をただしたり、報告や説明を求めるものです。執行部の回答時間も含め一人当たりの持ち時間は60分以内です。

このページでの掲載文は、質問者本人が自分の質疑内容を900文字に要約したものです。

尚、議会ホームページでは、全ての内容が録画されたものをご覧頂けます。

南雲 好幸 ..... 11

Q 湯沢学園の現状と今後の課題は

田村 計久 ..... 12

Q 湯沢駅東口に一般車両の駐車スペースの確保と温泉通り付近の駐車場対策に取り組みを

飯田 正義 ..... 13

Q 湯沢町のふるさと納税の更なる支援状況は

宮田 眞理子 ..... 14

Q 集合墓・合葬墓のその後の展開

並木 利彦 ..... 15

Q 「君と一緒に暮らす町」障がい者も一緒に暮しやすい町づくりも必要だが

岸野 雅人 ..... 16

Q 役場庁舎の建て替えに向けての調査を

渡辺 千恵 ..... 17

Q 湯沢町に車イス対応のタクシーが一台もないことを知っていたか

水谷 幸乃 ..... 18

Q 地域移動環境計画における企画産業観光部と福祉部門との連携、計画検討の進め方は

南雲 あや子 ..... 19

Q 国保税の納税通知書を納税者も計算できるものにしては

南雲 正 ..... 20

Q 全国学力テストの結果をなぜ公表できないのか



# Q 湯沢学園の現状と今後の課題は

なぐもよしゆき 南雲好幸(文責)



## A 小学生は姿勢・聞く・書く・話す力、生活面でも課題あり

**質問** 課題の原因とその対策について伺う。

**教育長 回答** 社会の変化、ギガスクール等の急速普及、新型コロナウイルス禍の活動自粛も影響。教育委員会も学校と連携し、児童・保護者への対応、職員の資質・指導力向上の研究を行い、子供達の落ち着いた学びの醸成に努める。

**質問** 6月一般質問答弁の学園立ち上げに際し策定した教育目標「人を想い、我を磨く」の重点目標プランについて。更に、一貫教育9年間の成長結果を実感できるような、例えば「読解力育成のため全生徒が漢字検定に挑戦する」これは「我を磨く」部分。「人を想い」の部分を「グループ単位で勉強し、教え合う・支え合う」ような取組みが必要ではないか。

**教育長 回答** 学力向上は、学ぶ力と考える力育てる授業づくり、若手教員の授業づくりと指導ノウハウ集作成。子供向け『家庭学習のススメ』、総合学習で地域へ出向き「人を想い、我を磨く」ための

キャリア教育を策定等。しかし、教員の移動が早い事と新型コロナウイルス禍で未研修。明確な目標を持たせる各種検定も効果的だが、教員業務の増加は難しい状況。地域の力も借りし、学びの環境整備に努める。

**質問** 昨年県が11月1日を「教育の日」と制定。「県民が教育の重要性、教育を考える契機」教育環境の整備推進を図り、持続可能な社会の実現に資する」という条例の目的達成施策実施の新潟県教育月間を定めた。重点的実施策の検討は。

**教育長 回答** 教育月間の取組み予定はないが、「オール湯沢での教育を」は「教育の日」と同じ願い。子供を教える育てる「教育」、親が子供と共に育つ「共育」、ふるさと湯沢に学び育つ「郷育」を、湯沢の人・もの・ことに直接触れ、人と関わりながら育つ姿を期待し、具体化させたい。

**質問** 総合子育て支援センター新設。課題と今後の取組みは。

**教育長 回答** 子育てに対し、相談できる場を知らない方や興味を持ってもらいたい方へのアプローチが課題。今後の取組みは、ミニ保育講座、親の仲間づくりの場等、親育てや家庭教育支援も更に力を入れたい。



昭和44年統合湯沢中学創立10年、躍進充実に向けたシンボルとして群像を設立  
(現在統合10年目を迎えた湯沢学園生徒玄関に設置されている)

# 湯沢駅東口に一般車両の駐車スペースの確保と温泉通り付近の駐車場対策に取り組む

田村 計久(文責)



# Q



# A 現在の周辺駐車場状況とあるものを活用、対応できている



滝沢駐車場 9月28日 13:00頃

質問

駅東口は近年建物の建設により通勤者、来町者など駐車場が不足であり湯沢の表玄関に相応しくない。駅前広場の改良を含め検討できないか。

答弁

周辺に個人の駐車場も増設されており通勤者などは個々に対応しているのではないかと。周辺用地も少ないので現状は対応できている。温泉通りの来町者や各事業所通勤者用に滝沢駐

質問

沢駐車場年間通し一般向けに利用できるようにし、ロープウェイ事業者には冬季駐車場の新設を要請したらどうか。

答弁

お客様のいない夏場の利用でも滝沢駐車場上段は周辺の人たちの利用で7〜8割うまっている。違法駐車を含め各事業者の意識の問題もあるが、現状の有るものを活用し、地域と協議し対応し、ロープウェイ事業者とは問題を協議してみる。

## 自然エネルギー、間伐材の活用を

質問

自然豊かな湯沢町の子ども供達に地域の一員として自然を活用した取り組みなど学園行事ではなく、行政と地域で進めてはどうか。町を知り、思いを寄せる。子供達の将来の選択肢に残るためにも子育て支援として考えられないか。

答弁

現在、学園において少水力、太陽光発電や地域行事、フジロック体験、絆活動など取り組んでいるが故郷に対する愛着心を育むために指摘の点について検討してみたい。

## 観光拠点、町民憩いの場の設置を

質問

課題である湯沢の将来のために、観光客の受け入れや町民の憩いの場として観光の核となり町民が楽しく過ごす時間を設ける場所の

設置が必要でないか。

答弁

湯沢地区は雪国館の改修を進めている。住民、観光客の憩いのスペースとしてイベントなど通じて湯沢の発信地としたい。今ある施設を整備活用していく。

## 湯沢町の安全対策について

質問

災害に無縁と思う町民が多くなっている。豪雪の雪崩、豪雨の災害、地震による被害、小河川の氾濫、過去の事例もあり地域防災組織の在り方、防災スピーカーの利用、防災ラジオの配布、外国人対応について伺う。

答弁

地域防災組織については今後地域指導を検討、防災スピーカーは残り1,300台無償貸与を進める。防犯カメラは補助事業で町内に設置を進める。外国人対応は各施設、地域住民の協力をお願いする。



# Q 湯沢町のふるさと納税の更なる支援状況は

飯田正義 (文責)



## A 返礼品の新規開発を町として推進していく

### ふるさと納税の支援状況は

**質問** 南魚沼市は寄付額50億円超、8コースにそれぞれ約6億円を充当しているが、湯沢町のふるさと納税に関する今後の施策や寄付額向上を図る計画は。

**答弁** 湯沢町のふるさと納税寄付額は令和4年度は7億3,060万円、5使途に4億円を充当している。南魚沼市はお米の事業者が多く、寄付額の8割を占めており、湯沢町はありがとう湯沢応援感謝券が84%を占めており、南魚沼市とは規模や事業者などが異なるので比較としては難しいが、応援感謝券の更なる訴求と地場産の商品開発の支援を町として今後推進していく。

### スキー場への支援状況は

**質問** 町とスキー場とが持続可能な関係であるためにナイター営業の支援等は。

**答弁** 湯沢町は冬季来訪者が年間の62%であり、湯沢DMOが令和2年度シャトルバス実証実験でのアンケートを行い、夜間にどういったものがあれば外出したいと思うか？に對して、スキー場のナイター、温泉街での食べ歩き、飲み歩きイベントが58.9%という結果からスキー場への支援は重要であると考えられる。また、物価や光熱費の高騰、人手不足でスキー場も厳しい状況だと理解している中で、湯沢町スキー場振興協議会と湯沢DMOにも共有し町としてできることを検討していく。

### 専門人材の派遣は

**質問** デジタル田園都市国家構想の「地方創生人材支援制度」の締切が10月下旬となっており、新たな政策立案・町民へのサービス向上を図るために活用してはどうか。

**答弁** 過去に総務省の地域活性化起業者、地域活性化アドバイザーを派遣していただき、派遣制度は大変ありがたい制度だと認識している。町と派遣員とが合う合わないもあるので、県内自治体で派遣している市町村に聞き取りをし検討していく。

### 道路状況については

**質問** 薄くなっている横断歩道の対応や各道路の問い合わせ先の情報発信は。

**答弁** 横断歩道は公安委員会の管轄となっているが、予算の関係に限り、町道の横断歩道を町が行う場合もある。また、町の建設課で冬季交通確保路線略図を冬前に配布しているので、道路のことでお困りなことがあれば関係窓口にお問い合わせいただく。



湯沢高原前 9月1日



湯沢高原前 9月24日

# Q 集合墓・合葬墓のその後の展開



&

みや た まり こ  
宮 田 眞理子 (文責)

## A 私には町民から要望は来ていない



大野原霊園

### 質問

集合墓・合葬墓について6月議会でも一般質問をさせて頂き、町長の答弁は「ニーズを見極めて、引き続き検討をしていく」ということであった。検討の結果や町内での動きについて伺う。後継がない方などから「町に集合墓・合葬墓は必要だ」と声をいただいている。

### 答弁

前回同様集合墓は近隣の寺院等を使用している方が増えてきていることから今のところ町営での集合墓・合葬墓を必要とは考えていない。私のところへは集合墓・合葬墓を望む声は来ていない。町内寺院でも永代供養の計画があると聞いている。

# Q

## 带状疱疹ワクチンについて

### A 10月1日から接種した方に補助をする

### 質問

带状疱疹は、水疱瘡と同じウイルスで体の左右どちらかの神経に添って発疹・水ぶくれが帯状に生ずる。加齢など免疫機能の低下が原因となり、50歳代から発症率が高くなり80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症すると言われている。

近隣自治体では5月27日に記者発表し、遡って4月1日から補助を開始することとした。

9月8日の一般会計補正予算で、带状疱疹ワクチン20人分20万円を、10月1日からの接種に対して助成すると説明があった。ワクチンの助成については大変評価するが、10月1日からではなく、遡り4月1日からの助成にするべきである。医療従事者や仕事柄寝込むことができない方で他

のワクチンとのタイミングを見計らって既に接種している方もいると思われる。

### 答弁

何事も区切りをつけないとならない。私は直ちにはじめたいという気持ちで指示をして、議会に示した後にということで、10月1日からの助成としたい。





# Q 「君と一緒に暮らす町」障がい者も一緒に暮しやすい町づくりも必要だが

並木利彦(文責)



# A 障がい者にできる範囲で応援していく

## 就労継続支援

**質問** 湯沢町において「就労継続支援A型」の利用を、町内事業所で協力して

ける事業所を作る仕組みが  
できないか。また、支援学校  
在学中で将来の職業を体験で  
きるしくみを湯沢町でできな  
いか。

**答弁** 町内事業者が、就労継  
続支援A型の事業所を  
開設することは容易ではない。

**質問** 支援学校在学中で将来  
の職業を体験できるし  
くみを湯沢町でできないか。

ちなみに「データセンターで  
は、支援学校の在学を預か  
り職場体験実習や、「セルプ  
こぶし工房」に排気口、吸気  
口のフィルターの取り替えを  
お願いしている。

**答弁** 町としてどのような協  
力ができるのか支援学  
校から意見を聞きながら検討  
していく。

## かぐらスキー場線橋梁の洪水時対応

**質問** かぐらスキー場線橋梁  
の洪水時対応の現在は  
どのような状況なのか。

**答弁** 雨量計や気象庁の危険  
度分布の雨雲レーダー  
により豪雨の洪水の把握を行  
うと共に、河川者である南魚  
沼振興局からは、洪水の発生  
の恐れがある場合連絡を頂く  
ことになっている。それに基  
づき道路パトロールを行い今  
後橋梁の通行が危険になると  
判断した場合通行止めの措置  
を執る。奥清津発電所の放流  
は放流の1時間前に連絡がく  
る体制になっている。

**質問** かぐらスキー場線橋梁  
は、水量毎秒500ト  
ンまでしか耐えられない。最  
近の雨量は線状降水帯等によ  
り予想ができない状況となっ  
ている。幸い清津川は上流に  
二居ダムがあるので河川の水  
量が予測できる。二居ダムは、  
ゲート放流1時間前に関係各  
所に1時間後の放流連絡 河



上流からの橋梁

川パトロール 河川サイレン  
吹鳴をする。二居ダムの洪水  
量は毎秒180トン。(河川  
によって洪水量は決まってい  
る)二居ダムが洪水量に達す  
ると関係各所に連絡をする。  
この段階で「町道であるかぐ  
らスキー場線橋梁」の帕特



下流からの橋梁

**答弁** 地域住民の安全確保を、  
町としてしっかり取り  
組んでいく。  
「この橋は水量毎秒500ト  
ンまでしか使用できない」と  
明示していない。再度、洪水  
時の対応、明示看板について  
聞く。



岸野 雅人 (文責)

# Q 役場庁舎の建て替えに向けての調査を



## A 来年度予算への調査費計上を検討したい

**質問** 役場庁舎は、初期の建築から56年経過し、今後建替えが予想される。改装改良だけでは住民サービスや行政機能に支障が出る時が訪れる。

その際、国の出先機関や公共性の高い事業者との合同庁舎も考えられる。補助金や起債の他、基金も必要となる。準備や計画には調査検討が欠かせない。来年度予算に盛り込むべきと考える。いかがか。

**答弁** 東館は平成15年に耐震補強しているが、屋上・外壁などの大規模な改修が想定される。

まずは大規模修繕や建替えが必要となる時期や超寿命化が可能かどうかなど、調査して結果をもとに資金計画や建替えの際の庁舎の形態などを含め、長期的なビジョンでの庁舎建築建替え等を検討すべく、来年度予算への調査費の計上を検討したい。

**質問** 令和3年「湯沢町個別施設計画」も、令和4年「湯沢町公共施設等総合管

理計画」にも、将来的にどうするという意志が見えない。役場庁舎も状況を説明しての問いかけではなく「こうしようと思うが、どうか？」と調査の上方向を示して問うべきと思う。どうか。

**答弁** 調査し、検討し、方向性を決めて意見を聞くべきと考える。また民意を吸い上げての協議検討も大切なこと。



役場庁舎東館は築56年、将来計画のために調査費を来年度予算に。

### 税金の使われ方、より分かりやすく

**質問** 「日本下水道事業団」や「JR東日本」へお願いする管理や工事、また「カシックス」への委託なども、必要で効果的と感じているが、専門的とは言え実態が分かりにくく、高額な割に内容が見えにくい。

意義ある仕事の色眼鏡で見られたりするのは、大変残念であり、町民・行政・事業者それぞれにとって不幸と言える。

**答弁** 金額は勿論、協定内容や工事・作業内容と効果など、広報で特集を組むなどして、より見える化し透明性を高めたいかがか。

**答弁** ご指摘のように、実際の内容が分りにくいものについては、必要に応じて広報等を通じて、できるだけ簡潔に内容をお知らせするなど、透明性を高め町民が理解しやすいよう努める。



湯沢浄化センター  
例えば、生活を支える下水処理場、専門性が高く、内容がわかりにくい面があります。





# Q 湯沢町に車イス対応のタクシーが 一台もないことを知っていたか & 渡 辺 千 恵 (文責)



## A 知らなかった

**答弁** 車があっても一番大きな問題は運転手がいらないこと。町は資格取得免許支援制度があり、2種免許取得の補助金を一人20万円に引き上げた。今年度4人運転手が増加したと聞いている。今後どのようなことができるか考えていく。

**質問** タクシー会社は民間のことではあるが、車イス対応のタクシーが無いのは車イスの利用者には不便で大変な思いを強いられている。現在東京都ではほとんどが対応できるジャパンタクシーになっている。タクシー会社が入れ替えの際、このようなタクシーを増やせるように湯沢町もできることがあるのではないか。国もこの購入に1社につき60万円の補助制度があるが町としても考えていたいただきたい。(先月タクシー会社に聞き取りに行った際、車イス対応のタクシーがなく不便を強いられている方がいるとの話をしたら、1社が一台購入を決めてくれた。ありがたいことです。)



車イス対応のタクシー

**質問** 冬場にタクシー不足で病院などにいきたくてもタクシーが捕まらない現状車がない高齢者などは大変な思いをしている。この冬もまったなしでやってくる。このことについても官民一体となり早急に考えるべき。

**答弁** タクシー会社に聞き取りをしながら、足の確保のために、今進めている「湯沢町地域移動環境計画」のなかでバス、タクシーを含め、必要な方にたいしての足の確保についてしっかり考えていく。

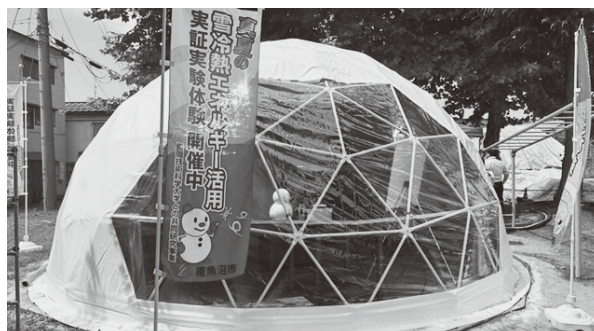
## 雪の活用について

**質問** 湯沢にとって「雪」は冬の観光にとって大切な資源である。この雪を無駄にせず保存し、一年を通して活用することを考えていったらどうか。暑さ対策、水不足にも使える。観光イベントにも使える。雪室、または南魚沼市が実証実験をしている雪クーラーなどとも考えられる。挑戦することにより新たな産業にも繋がるのでは。またこれから雪不足も考えられる。シーズン初め雪が足りない時に活用できる。コストもかかることだが考えていくことはできないか。

**答弁** かつては観光イベントにもつかっていた。財源や技術的な問題も大きいがこの雪を活かし「何のため」「何に使うのか」を含め、今後考えていきたい。



雪むる



南魚沼市雪国クーラー実証実験の様子

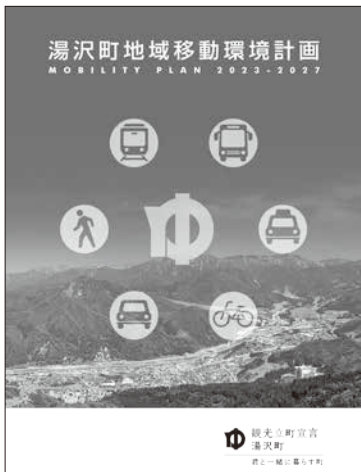


# Q 地域移動環境計画における企画産業観光部と福祉部門との連携、計画検討の進め方は

水谷幸乃(文責)



## A 現状や今後のニーズを把握し 今後の対応を協議する



湯沢町地域移動環境計画



学園図書室

**質問** 計画実験段階まで1年半という短い期間でどのように進めていくか。

**答弁** 実証実験に進めていくように連携を図っていく。

**質問** 企画観光と福祉という全く違う部門ではどのように連携、すり合わせをおこなっていくか。

**答弁** 観光のニーズと福祉・暮らしのニーズを照らし合わせ不足部分を補うよう連携を行う。

**質問** 町内での民間福祉タクシー事業者の誘致や起業推進などは考えているか。

**答弁** ニーズ量を考えるとビジネスとしての展開が難しい点から検討はしていない。

**質問** 計画作成から約半年がたつが現在の進捗状況はいかがか。

**答弁** 令和4年度に実施し好評であったものは磨き上げを図る。移動サービスに関しては企画観光課内で素案をまとめ各関係事業者と連携していく。

**Q** 令和6年度の教育大綱が改定に際し、子供読書活動推進計画を策定すべきであると考えますがどうか

**A** 他にも策定予定の計画も複数あり、計画実施にはマンパワー不足である。計画策定も大切であるが、まずは先生たちの指導による読書の浸透を図っていく

**質問** 図書館に専任司書を配置することは検討していないか。

**答弁** 学校司書の配置は望ましい。関係者と協議し前向きに検討していく。

**質問** 湯沢町生涯学習推進基本計画の中で現状どのような連携・取り組みを行っているか。

**答弁** 南魚沼市、魚沼市、湯沢町の図書館の相互利用が可能となっている。今までの県立図書館の図書貸し出し支援に加え、県

と市町村共同による電子書籍サービスの検討が始まっている。開始に向けたシステム導入を今年中に協議を発足する予定。

**質問** 生涯学習は子供の頃からの一生涯の学びであると考え、今後の読書環境を踏まえると読書への指針が必要であると思うがいかがか。

**答弁** 様々な課題があることは把握している。まずは子供達が、好きなことや興味あるものへ進んで学んでいくとする姿や成長を一貫して支えていく学び・成長の場を提供してゆく事を考えている。



# Q 国保税の納税通知書を納税者も計算できるものにしては

南雲 あや子 (文責)



## A 独自の様式にする考えはない

**質問** 国保税の納税通知書がとどいたが、これでは計算ができない。

**答弁** 個人ごとの総所得金額と基礎控除額を知らせて納税者も計算のできるものにしては。

**質問** 既存のシステムは標準化対応のもの。湯沢町独自の様式は考えていない。

**答弁** 個人ごとの税額等の明細を記載した帳票は発行可能。

**質問** 個人ごとの税額等の明細書は全世帯の納税通知書に同封するか。

**答弁** 全世帯へは考えていない。納税者から問い合わせがあったときは、きちんと対応できる体制をとっていく。



### 介護保険料の計算方法について

**質問** 介護保険の納入通知書に同封している、「わかりやすい介護保険料」の冊子を使って介護保険料の計算方法を説明してほしい。

**答弁** 給与所得等から10万円を控除し、所得段階を判定する。冊子にはその説明がされておらず配慮が足りなかった。今は冊子にこの10万円の説明を差し込みしている。

**質問** 2回担当者を訪ねた。2回目でやっと10万円の説明を受けた。

**答弁** なぜ、当初から10万円の説明文を入れられなかったのか。手違いがあったか、見落とししていたかだ。改めてお詫びする。しっかりと行政運営を約束する。

### マイナンバーカードについて

**質問** 湯沢町ではマイナンバーカードが人口の何%発行されているか。

**答弁** 7月末マイナンバーカード保有率、5,766枚、72.3%。新潟県全体72.6%。国保の7月末被保険者、2,037人のうち1,219人、58.8%。後期高齢者7月18日時点被保険者、1,673人のうち801人、47.9%が紐づけている。

**質問** 返納も報道されている。湯沢町では返納があるか。湯沢町民が安心して保険医療を受けられるように、マイナンバーカードへの保険証の一本化を強要せず、今と同じ保険証が使えるような制度にするべきだ。

**答弁** 返納はない。国の制度であり独自は考えていない。

**質問** 様々なトラブルが報道されている。湯沢町では安心して保険医療を受けられるように、運用を一旦停止し、完全・確実な総点検とカードの取得は任意なので、取得しない人が不利益にならない制度が必要ではないか。

**答弁** トラブルはない。国の進めている制度をしっかりとやっていく。





# Q 全国学力テストの結果を なぜ公表できないのか

&

南 雲 正 (文責)



## A 子どもの成長につながらないので公表できない



湯沢学園



### 質問

2023年全国学力テストの結果が7月31日に公表され、4年ぶりに中3の英語のテストが実施され、英語の話す力は正答率12.4%、全問不正解が6割を超え、全国的に英語力が十分に身につけていない実情が明らかになったが、長年にわたりALT(外国語指導助手)の充実を図ってきた湯沢学園の状況はどうだったのか、学力テストの結果を町民に公表して、湯沢町全体で湯沢学園の学力

向上に取り組みすることも必要であると思うが見解を伺う。

### 教育長 回答

平成30年度から全国平均との相対的な位置を学園だよりで知らせている。

### 質問

英語の結果について答弁がない。教育者として誠実な答弁を求める。

### 教育長 回答

ALT効果により、湯沢学園の英語の結果は県平均より若干上である。なお、湯沢町としては全国学力テストの結果を公表する予定はない。

# Q

## 中学校の部活動地域移行に対応する国のモデル事業への対応は

# A

国の方針は、受益者負担として保護者負担を原則としているが、国のモデル事業を最大限活用して保護者負担を可能な限り抑えたい

### 質問

公立中学校の部活動を地域のスポーツ、文化芸術団体に委ねる「地域移行」を、国が段階的な取り組みを促す3年間の「改革推進

期間」がスタートしている。

スポーツ庁と文化庁の来年度予算の概算要求で部活動の地域移行の予算を大増額し、モデル事業を拡充する方針が示されている。

受け皿、運営団体の問題、また外部指導者は教員ではなく生徒と保護者が安心して指導を受けられる環境の整備等のための国のモデル事業の積極的な活用を。

### 教育長 回答

今年度から、段階的な実施を始め月1回の休日活動を地域スポーツクラブ「ユースポ」が担い、月1回は学校部活動に地域の部活動指導員が指導にあたり、令和8年度には地域移行を完了する予定である。



体育祭の様子



# 議員全員協議会

6月21日(水) 第9回

## ゴミ処理について

- ・新ごみ処理施設の用地は約1ha。
- ・可燃ごみ処理施設及び不燃ごみ処理施設の処理方針。

- ・新ごみ処理施設整備基本計画策定。
- ・計画内には土木基本計画、建築計画、耐水計画、プラント基本計画、余熱利用計画、防災計画等が記載
- ・概算事業費は、建設費168億円、運営費98億円(15年間) 建設費は交付対象。
- ・事業スケジュールは、循環型社会形成推進交付期間、第1期令和5年度から令和9年度まで、第2期令和10年以降、竣工年度令和12年度。

**Q** 建設予定地に隣接する河川の堤防改修を行うのか。

**A** 浸水した場合も想定し計画を策定している。

8月23日(水) 第10回

## 湯沢町議会基本条例の改正

- ・公職選挙法と地方自治法の改正に伴い、湯沢町議会基本条例、湯沢

町議会議員政治倫理条例、湯沢町議会申し合わせ事項を改正検討。  
湯沢町議会基本条例等改正検討委員会を設置し検討していく。

**(一社)湯沢町観光まちづくり機構の事業概要**

- ・組織体制は最高意思決定機関として社員総会があり、執行機関として理事会の中に執行理事会がある。
- ・令和5年度から理事会と事務局との間に新たに6つのプロジェクトチームを組織した。
- ・事務局は13名、プロジェクトチームは事業の性質に応じて6つの区分けをしており、チーム内は機構の役員、地域会員、役場職員がいる。

- ・広域観光情報センター運営事業は、えちご魚沼観光開発協議会から受託事業として観光窓口業務を行っている。また、令和4年度から新潟県の観光情報発信基地として県から受託事業として行っている。
- ・指定管理事業は、湯沢町歴史民俗資料館が指定管理者を受けており、共同浴場は総合管理公社と共に企画開発・利用促進で連携を深めて

いる。

- ・イベント開催ではゆざわナイトマルシェ2日間4,500名、グリーンフェス1,500名、湯沢夏花火6,000名の来場であった。

- ・行政及び雪国観光圏と連携し事業に取り組んでいく。

**Q** 観光パンフレットは電子化のみで紙媒体での制作は行わないのか。

**A** 電子化と合わせて紙でのパンフレットもプロジェクトチームで進めている。

**Q** 収益事業が伸びていないのと補助金頼みの運営を改善すべきでは。

**A** 設立当初は補助金割合が8割、現在は6割となっている。機構自体の収益分野は今後も作り上げていく。

**Q** ゆざわマルシェでアンケート調査は行っていないのか。

**A** 従来までは出店者アンケートのみを実施しており、今後は来場者アンケートを行い、中身をブラッシュアップしていく。

9月5日(火) 第11回

## 介護保険料の徴収誤り

- ・8月18日に8月の年金天引き額と変更通知書の額に誤りがあることが発覚。経緯は6月1日にシステ

ム保守業者に情報変更を依頼をした際に、保険料の変更が反映されていないことが原因であった。  
システム保守業者が今回発生した誤徴収にかかる処理を費用面も含めてフォローし、対象の町民へはお詫びの文書を送送する。

**Q** 再発防止の対策は。

**A** 今回は業者が処理後の確認ができていなかったため、今後は保険料の集計件数と合計金額に差異がないか入念に確認をしていく。

9月21日(木) 第12回

## 豊島区との協定締結

- ・12月6日に湯沢町と豊島区が相互交流都市協定を締結する予定。

- ・目的は、観光や教育、文化、環境産業振興をはじめとした多様な分野で交流し、互いの価値や魅力を高めることを図る。

**Q** 交流都市の分類は。

**A** 現在豊島区で8区が協定されている「国際アート・カルチャー都市構想」や「SDGs未来都市」としての理念を実現するため、様々な分野で交流する都市、の中にある、文化交流都市協定を予定している。


# 議員表決結果報告

令和5年9月定例議会

- 採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- 表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	飯田正義	水谷幸乃	南雲あや子	渡辺千恵	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	宮田眞理子	田村計久	白井孝雄
9月定例会	教育委員会委員の任命	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度下水道特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度下水道特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度病院事業会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度一般会計決算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度国民健康保険特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度後期高齢者医療特別会計決算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度介護保険特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度下水道特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度水道事業会計利益の処分及び決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度病院事業会計決算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願・陳情	健康保険証の存続を求める陳情	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	「私立高校生の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	JR東日本に諏訪社境内の杉の伐採についての住民説明会の要請をする陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議会提出	健康保険証の存続を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	私立高校生の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

## 議会活動日誌



**9日**  
湯沢町・南魚沼市・魚沼市  
議会議員協議会要望会及び活

**8～9日**  
新潟県町村監査委員会監事及び研修会及び令和5年度総会（新潟市）

**8月2日**  
新潟県町村協議会議長会 町村議会議員前期研修会  
新潟県後期高齢者医療広域連合会議（新潟県自治会館）

**8月3日**  
新潟県町村協議会議長会令和5年度第2回臨時総会

**8月4日**  
新潟県町村協議会議長会令和5年度産業建設常任委員会  
産業建設常任委員会  
及び湯沢児童クラブ）

**8月28日**  
総務文教常任委員会（会議及び魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（八色園）

**8月26日**  
魚沼地域特別養護老人ホーム定期総会（上越市）

**8月21日**  
上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会令和5年度定期総会（上越市）

**8月20日**  
一般国道17号湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会総会及び国道事業説明会

**19日**  
湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会令和5年度定期総会及び意見交換会（湯沢町）

**11日**  
湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会評議員会（南魚沼市役所）

**10日**  
生活福祉常任委員会（COC OIRO視察）  
議会広報常任委員会  
議会広報常任委員会  
産業建設常任委員会（湯沢砂防事業説明会及び情報交換会）

**7月6日**  
議会広報常任委員会  
湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会評議員会（南魚沼市役所）

**7月4日**  
新潟県町村協議会議長会監事会（新潟県自治会館）

**5～6日**  
新潟県町村協議会議長会正副会長会議及び議長会議（関川村役場）

7月4日 新潟県町村協議会議長会監事会（新潟県自治会館）

5～6日 新潟県町村協議会議長会正副会長会議及び議長会議（関川村役場）

7月6日 議会広報常任委員会  
湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会評議員会（南魚沼市役所）

10日 生活福祉常任委員会（COC OIRO視察）  
議会広報常任委員会  
議会広報常任委員会  
産業建設常任委員会（湯沢砂防事業説明会及び情報交換会）

11日 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会評議員会（南魚沼市役所）

19日 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会令和5年度定期総会及び意見交換会（湯沢町）

20日 一般国道17号湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会総会及び国道事業説明会

21日 上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会令和5年度定期総会（上越市）

26日 魚沼地域特別養護老人ホーム定期総会（上越市）

28日 総務文教常任委員会（会議及び魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（八色園）

8月2日 新潟県町村協議会議長会 町村議会議員前期研修会  
新潟県後期高齢者医療広域連合会議（新潟県自治会館）

8月3日 新潟県町村協議会議長会令和5年度第2回臨時総会

8月4日 新潟県町村協議会議長会令和5年度産業建設常任委員会  
産業建設常任委員会  
及び湯沢児童クラブ）

8月2日 新潟県町村協議会議長会 町村議会議員前期研修会  
新潟県後期高齢者医療広域連合会議（新潟県自治会館）

9日 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会要望会及び活

令和4年度決算

決算審査

決算への審査意見

一般会計補正予算

開会中常任委員会

一般質問

議員全員協議会

開会中常任委員会

# 閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

## 総務文教常任委員会

8月2日(水)

### 定員適正化計画

令和5年度の一般職員は90人を目標に対して83人。職員合計目標127人に対して118人。今年度の職員採用一般事務4名、社会人枠2名、社会福祉士1名の予定。保健師及び保育士は、1月再度募集。

### 職員の健康管理

職員衛生委員会を年2回開催。新採用職員、採用3か月経過後に産業医と面談。

### 児童クラブ視察

新型コロナウイルス以降、利用ニーズが少ない。利用学年は1・2年生が半分を占める。

9月1日(金)

### 中学校の全校生徒数1322名。

熱中症が心配。WBG T計置き体育の授業。9月23日の体育祭に向け

準備。

不登校生徒の1学期は改善に向かっていた。2学期、不登校の生徒は本調子でなさそう。担任を中心に家庭と連絡を密に対応。

9月は定期テスト、水泳、陸上、新人戦など。

### 小学校の生徒数275名。

2学期元気に登校。少し暑さや疲れを感じている子供が見られる。

今年度は湯沢の自然に触れ合う活動、ふるさと湯沢を学ぶ学習に取り組んでいる。

9月23日の体育祭に向け練習。学力は4月に行ったNRTでは、

国語、算数が全国平均を下回った。小中教員合同研修会行い授業力、指導力向上を目指す。ほめる授業を基本に学力向上を。

いじめ事案が多数あり、中越教育事務所に指導頂きながら対応にあたる。授業中に集中できない学年には複数担任制で対応。

### 湯沢学園の授業視察

授業の様子を見学。インクルーシブ

教育の一貫の車イスラグビーの体験も視察。

## 生活福祉常任委員会

8月10日(木)

### 町税の課税状況

町税等の調定額の7月末前年同月比について、個人町民税は107.23%、法人町民税は107.02%。

固定資産税は100.52%、軽自動車税は103.15%、町たばこ税は106.47%、入湯税は13.18%で、観光客が増え景気が戻りつつある。

### 福祉事業

平成25年4月の改正により障害者総合支援法となり、町の障がい者に対するサービスは障害者総合支援法・児童福祉法に基づいて行われている。

町の福祉事業の訓練等給付就労継続支援A型「魚沼わさび苑」は令和4年度から1名の就労。障害児通所支援事業は町内新規事業所こころスペース8名。日常生活用具給付事業はストマ用装具176件の増。

29日	28日	27日	26日	23日	22日	21日	10日	8月21日	7日	5日	9月1日	31日	30日	29日	23日	18日	14日	10日	
新潟県自治会館	第44回町議会広報研修会	組合例月監査(八色園)	魚沼地域特別養護老人ホーム	令和5年度湯沢学園体育祭	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	令和5年度全国町村議会広報研修会(東京)	魚沼地域特別養護老人ホーム	湯沢町敬老会	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町消防団秋季消防演習	第12回議員全員協議会	湯沢町敬老会	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①	湯沢町議会基本条例等改正検討委員会①

令和4年度決算

決算審査

決算への審査意見

一般会計補正予算

閉会中常任委員会

一般質問

議員全員協議会

閉会中常任委員会

### ネグレクト（障がい者・高齢者等虐待）の現状と課題

令和4年度は相談支援センターのみみうおぬまで1件の相談と、包括支援センターには53件の相談。課題、親族が遠方の場合、支援が遅れる。虐待者や本人が介入を拒否、隠そうとすること。

### ワクチン接種の現状と課題

令和5年春接種の対象者は、65歳以上、12歳から64歳までの基礎疾患のある方、医療従事者等のうち初回接種済みで3カ月以上経過した方。使用ワクチンはオミクロン対応2価ワクチン。

秋開始接種の対象者は、初回接種から3カ月以上経過。使用ワクチンはオミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチンで接種期間は9月20日から令和6年3月末まで。春・秋ともに国の負担金補助金。

## 産業建設常任委員会

7月19日(水)

### 湯沢砂防事務所の「安全で安心な地域づくり」の基本方針説明

湯沢砂防事務所は、信濃川流域約2,200平方キロメートルを担当し、直轄砂防事務所としては日本一

の広さである。

管内の特性を踏まえ、「地域の安全・安心の確保」、「定住・交流の促進」、「個性豊かな地域づくり支援」、「豊かな自然環境の保全」を整備方針とし、危機管理の強化、地域に根ざした砂防事業を推進し安全で安心な地域づくりに取り組んでいく。

8月3日(木)

### 令和5年度観光政策、町経済復興対策

・2023「がんばろう湯沢」商品券を4月28日全町民に配布。発行枚数79,460枚。

・湯沢町観光まちづくり機構との連携。

機構は、「湯沢町観光振興計画」に掲げた戦略において、6つのプロジェクトチームを上げた。事務局だけでなく理事等もプロジェクトに責任を持つことと、行政職員も参画することで戦略の実行性を高める。

### 大源太湖周辺整備について

借用していた土地を返還後、遊歩道整備予定。駐車場の造成。大源太湖防堰堤工事後の仮排水トンネル活用。

・安全砂防講習会を受講した5団

体12名に修了書交付。現状はその方々が所属する団体しか利用できない。

### 地方創生事業の現状と課題

地方創生事業は、総合戦略に掲げた基本目標ごとの「目標達成のための取組」が中心。

施策展開により、人口減少を緩やかにすることに成功。中子町有地等の利活用の推進、出生数の低下は大きな課題。

### 婚活支援の状況

・結婚相手紹介サービス（ツヴァイ）入会金補助事業の令和4年度入会1名、継続3名。補助は令和4年度で終了。

・令和5年度からは、新潟県が運営する婚活マッチングシステム「ハートマッチにいがた」への入会金補助。今年度1名交付決定。

・令和4年度若者コミュニティ創出事業「あの雪」は、9回開催し参加者57名。登録は約90名。

### 耕作放棄地対策と農業振興策、生産物のブランド化

・耕作放棄地対策

農地パトロール 年2回施。保全管理されていない圃場は意向調査を確認後に保全管理指導を行い、遊休農地や耕作放棄地防ぐ取組。

取組。

・農業振興策

①多面的機能支払交付金  
②中山間地域等直接支払交付金  
生産物のブランド化

神楽南蛮やアスパラガス、などの園芸作物11品目を、湯沢町の地域重点作物として交付金による生産拡大支援。

### 森林整備と木材、間伐材及び森林環境譲与税の活用

①舟木団地の主伐・再造林  
②毛渡沢青年団地（地公金）の主伐  
・森林環境譲与税の活用

①神立地区の森林所有者意向調査  
②土樽地区の集積計画策定業務  
小水力発電事業（毛渡沢）

越後湯沢水力発電㈱ 代表取締役 林敏幸氏、毛渡沢下流砂防ダムを利用した水力発電所の概要を説明。

### 売電収入と地元貢献

・固定資産税・法人税等税収面での貢献。  
・湯沢町のSDGsへの取組（CO2削減効果として、200t/年）。

・再生可能エネルギーの地産地消。  
・施設への視察者の来町（観光面での貢献）。

・収益金の一部を湯沢町の子供の学習・就学支援に使う。



8月30日(水)

## 令和5年度上下水道課事業内容及び令和4年度上下水道利用実績

- ・湯沢浄化センター 受変電設備工事 他15件
- ・上下水道大刈野ポンプ場流入流量計更新 他5件

### 上下水道利用実績

- 水道料金
- ・令和4年度調定金額 3億2,385万円

### 下水道料金実績

- ・令和4年度調定金額 2億8,309万円

### 令和5年度地域整備部建設課事業

- ・道の駅「みつまた」指定管理
- ・みつまた親水公園整備工事 他57件



道の駅みつまた

# 管内外視察研修報告

## 生活福祉常任委員会

### 「障害者支援施設 まきはたの里」視察

#### ・施設長が施設概要説明

平成10年4月に開所した重度知的障害者の生活支援施設として日々の生活にメリハリをつけることに重きを置いている。

食事は温かいものを提供、入浴支援は毎日。職員52名。

#### ・副施設長兼サービスマン管理責任者より南魚沼地域の障がい福祉サービスについて説明

就労継続支援A型はない。就労継続支援B型は「あさひばら」就労移行支援はセルプこぶし工房や魚野の家である。施設入所支援(居住)はマイトローラ(身体)60床とまきはたの里(知的)の2か所。まきはたの里では短期入所5床、通所生活介護20名の受け入れができる。

南魚沼地域の障がい福祉サービスのの特徴として就労サービスが多く、介護系サービスが少ない。

#### ・施設内視察

### 「障害福祉サービス事業所 あさひばら」視察

#### ・施設長が現状と課題の説明

開設から31年。当初、旭原福祉工場として障がい者と雇用契約をし、農業を主体として事業に取り組んできた。しかし、冬期間生産活動がなく利用者に最低賃金を保障することは容易ではなく、平成19年から非雇用型の就労支援B型「あさひばら」として農業の他、洗濯事業に取り組んでいる。以前の知的・身体に加え精神の障がい者も受け入れている、利用者は減少し今後の事業継続が難しい。

課題として作業種類が少ないこと、立地条件により通勤手段が限られること、建物及び設備等の老朽化が進み高額な修繕費用が見込まれ更新が難しいこと、事業地の拠点を主事業所に分け作業の種類や職員を増やした利用者支援の在り方を検討することである。

#### ・施設内視察

施設内では業務用タオル、バスタオル等の洗濯。

7月10日

現在はビニールハウス2棟。

### 「特定非営利活動法人 coccoir」視察

特定非営利活動法人 coccoir の理事が運営状況説明。

スタッフ3名とボランティア数名。

#### ・児童発達支援

小学校入学前の6歳までの児童を対象に、個性を伸ばす個別療育等、個別に計画を組んでいく。

#### ・放課後等デイサービス

小学生から18歳までの子供が対象。



運営内容の説明を受ける

## 訃報 南雲正議長のご逝去を慎む

南雲正議長（76歳）が、去る10月11日に逝去されました。

南雲議長は、平成19年に初当選以来連続5期17年、議長として現在4期目を務め、地方自治の発展と住民福祉など、本町の発展に多大なご貢献をされました。

また、令和元年7月から令和3年7月まで、全国町村議会議長会副会長に就き、令和3年7月から令和5年7月まで、全国町村議会議長会会長を務めました。

南雲議長は政治信条である「おくせず・ひるまず・屈せず」を掲げ、町村議員のなり手不足問題をはじめ、兼業規制の緩和、選挙の公費化、議会の位置付けと議員の役割を地方自治法に明記する改正に尽力されました。さらに、コロナ禍、コロナ後における経済対策、地方交付税等の地方財源の確保、農林水産業、商工業の振興、頻発する自然災害に対応する国土強靱化の推進や社会福祉対策等の国からの支援要請を行い、国に地方の声を届ける役割を担い、湯沢町さらには全国926町村の発展に多大なる功績を残されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。



全国議長会臨時総会で退任の挨拶

## 9月21日の本会議終了後、南雲正議長へ感謝状の贈呈を行いました

南雲議長は、全国的な課題でもある「議員のなり手不足問題」に全力で取り組み、「議員の請負禁止規定の緩和」「地方議会の位置づけ」「議員の職務の明確化」に関する法改正を成し遂げるなど、地方議会の発展に尽くされた功績に対し、全国町村議会議長会から感謝状が贈られました。

また、3期6年に渡り務められた新潟県町村議会議長会の会長職も8月4日付で任期満了により退任され、全国町村議会議長会、北信越町村議会議長会、及び新潟県町村議会議長会から地方自治の振興発展及び各会の運営に貢献されたことに対し、感謝状が贈られましたのでご報告いたします。

南雲議長の永年のご苦勞に対し敬意を表したいと思います。大変お疲れ様でした。



## 編集後記

決算と閉会中委員会調査が多く、ボリュームのある議会だよりになりました。

さて全国各地で水害の他、暑さや水不足による農作物への被害がありました。湯沢町も例外ではなく、夏野菜生育への影響も見られました。

新型コロナウイルスの制限緩和に伴い、冬季の湯沢町観光は大変期待ができるシーズンとなりそうです。湯沢町地域移動環境計画による町内交通機関において、系統番号の附番や越後湯沢駅構内の案内サインの見直しなど統合整備を行いました。誰もが利用しやすい移動環境は多くの観光客を迎える湯沢町にとって大切なことです。ハード面・ソフト面、両方からのおもてなしの心を大切に、誰もが楽しめる湯沢町観光となればと思います。

### 議会広報常任委員会

委員長	南雲 好幸
副委員長	水谷 幸乃
委員	飯田 正義
	南雲 あや子
	渡辺 千恵
	並木 利彦
広報委員	水谷 幸乃